

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)										
事業名	スポーツ支援強化のための基盤整備事業			担当部局	スポーツ庁	作成責任者						
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 西川 由香						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 「持続可能な国際競技力向上プラン」(令和3年12月27日スポーツ庁策定)							
政策	11 スポーツの振興			主要経費	科学技術振興費							
施策	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備											
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-08.pdf											
事業の目的 (5行程度以内)	「第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日文部科学省策定)」に基づき、東京大会における好成績を一過性のものとせず、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピック競技大会並びに各競技の世界選手権等を含む主要国際大会において過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得総数、入賞数及びメダル獲得競技数等を実現できるよう、継続的な強化活動が行われるレジリエント(強靱)なシステムを構築する。											
現状・課題 (5行程度以内)	ハイパフォーマンススポーツセンターを中心として継続的に選手強化が求められており、様々な制約を受ける状況にあっても、ハイパフォーマンススポーツセンターを中心として継続的な競技力強化、基盤整備の拡充が必要となっている。急速にデジタル技術などの先端的な技術が発展進化していることから、デジタルトランスフォーメーション(DX)を見据えて、先端技術を活用した多様な支援手法の研究が求められている。											
事業概要 (5行程度以内)	HPSCの選手強化機能をより強固なものにするため、スポーツ医・科学的なアプローチに基づき競技特性に対応した最適なコンディショニングの研究や、急速に発展進化しているデジタル技術など先端技術を活用した多様な支援手法の研究、競技人口の少ない冬季競技やパラ競技に係る競技用具等の研究等、基盤体制を強化し、世界と競り勝つ競技力向上の仕組みの構築とその機能強化を実現する。											
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop07/list/detail/1372076.htm											
実施方法	委託・請負											
補助率等	-											
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	715	令和3年度	479	令和4年度	379.3	令和5年度	338.9	令和6年度要求	0
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	715	479	379.3	338.9	-					
		執行額(G)	715	479	379.3	-	-					
		執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%	-	-					
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	100%	100%	100%	-	-					
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
		(項) スポーツ振興費			独立行政法人日本スポーツ振興センター運営費交付金として要求するため。							
(目) スポーツ医・科学研究支援等委託費	338.9											
その他	0	0										
計(A)	338.9	0										

活動内容① (アクティビティ)		オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとした国際競技大会で使用される競技用具等の機能向上に資する研究を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ハイパフォーマンススポーツセンターの知見を活用し競技用具等の機能向上に資する研究を実施する。	冬季競技および障がい者スポーツ等の競技用具機能向上のための研究件数	活動実績	件	-	-	3	-	-
				当初見込み	件	-	-	2	3	3
↓		競技用具の研究として、取組テーマごとに成果を創出することを目標に、1テーマにつき1件の知見(論文等の発表成果物、競技用具研究ノウハウなど)を創出することを目標として設定する。								
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		競技用具等の機能向上に資する研究の発表	競技用具の研究促進、ノウハウ、知見の発表数	成果実績	件	-	-	2	-	
				目標値	件	-	-	2	3	
				達成度	%	-	-	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」事業成果報告書 https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
↓		十分に現場と協働してニーズに基づいて創出していくことから、満足度100%を設定する。								
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		競技団体のニーズに合わせた競技用具の機能向上のノウハウ・知見の利活用	競技用具の機能向上のノウハウ・知見の利活用によるNFの満足度	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」活動紹介HP https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
↓		複数年にわたり、研究を重ね、また十分にニーズを探索し、現場と協働して創出活動をしていることから、入賞率100%を設定する。								
成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		競技用具等の機能推進による競技力向上	提供されたノウハウ、知見を利用したNFの入賞率	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」活動紹介HP https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)	競技特性に対応した最適なコンディショニングを獲得する手法の研究を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	競技特性に応じた最適なコンディショニングの研究を行う	最適なコンディショニングに関する知見及びコンディショニングプログラムの調査、研究数	活動実績	件	-	-	3	-	-
			当初見込み	件	-	-	3	3	3
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	前年度までの実績で、3テーマのコンディショニング研究があることから、その3テーマの継続研究を行い、1テーマにつき2件の知見(論文やプログラムメニュー)を創出することを目標として設定する。							
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	競技特性に応じた最適なコンディショニングに関するプログラムの提供	競技特性に応じた最適なコンディショニングに関する知見やプログラムの発表数(論文+プログラムメニュー数)	成果実績	件	-	-	5	-	
			目標値	件	-	-	6	6	
達成度	%	-	-	83.3	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」活動紹介HP https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	創出された知見をNFに提供し、NFの活動の質向上に役立てる。十分に現場と協働してニーズに基づいて創出される結果を目指すことで、利活用満足度100%を目指す。							
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
	競技特性に応じた最適なコンディショニングに関するプログラムの利活用	策定したトレーニングプログラムのNFでの利活用(NFの満足度)	成果実績	%	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	80	100	
達成度	%	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」事業成果報告書 ※R4年度は集計中 https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	十分に現場と協働してニーズに基づいて創出し、NFが十分に活用することで、入賞率100%を目指す。							
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
	最適なコンディショニングに関するプログラムの活用など、NFの活動支援の充実	策定したトレーニングプログラムを利用したNFの入賞率	成果実績	%	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	100	
達成度	%	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」成果報告書 https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)		継続的な強化活動を可能とするデジタル技術等を活用した支援手法の研究を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		デジタル技術・先端映像技術を用いた支援方法の研究件	デジタル技術・先端映像技術を用いた支援方法の研究件数	活動実績	件	-	-	5	-	-
				当初見込み	件	-	-	3	5	5
↓										
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		これまでの実績でおよそ3テーマのデジタル技術を活用した研究活動があることから、1テーマにつき2件の知見(論文発表や2実証検証など)を創出することを目的として設定する。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		デジタル技術・先端映像技術を用いた知見・ノウハウの提供	デジタル技術・先端映像技術を用いた活動報告、知見・ノウハウの提供数	成果実績	件	-	-	2		
				目標値	件	-	-	6	10	
				達成度	%	-	-	33.3	0	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」事業成果報告書 https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
↓										
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		これまでの活動において十分にNF等と協働し、ニーズに基づいて研究を進めるなどの活動により、NFが利用する際の満足度100%を目指す。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		デジタル技術活用支援研究の提供	デジタル技術・先端映像技術を用いた知見を利用したNFの満足度(5段階評価で4以上と評価したNFの割合)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」事業成果報告書 https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
↓										
成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		これまでの活動において十分にNF等と協働し、ニーズに基づいて研究を進め、NFでの利活用ノウハウも蓄積されていくことから、ロス大会で入賞率100%として設定する。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度	
		デジタル技術を活用したNFの国際競技力の向上	デジタル技術を活用したNFの国際競技力の向上(入賞率)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター「スポーツ強靱化のための基盤整備事業」事業成果報告書 https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/432/Default.aspx								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

スポーツ庁 379.3百万円

我が国の国際競技力が中長期的に成長し、我が国のトップアスリートがオリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう、日本スポーツ振興センター(JSC)に設置されたハイパフォーマンススポーツセンターの基盤整備を図る。



委託【随意契約(その他)】

A. 独立行政法人日本スポーツ振興センター 379.3百万円

多様化・複雑化するハイパフォーマンスに関する情報の世界的な競争の中で、各国のメダル獲得戦略、選手強化方法などのあらゆる情報を先行して収集し、研究・分析結果を競技団体の強化戦略プラン等に反映して用意周到な準備を行い、大会本番でのパフォーマンスの最大化を図る取組や、競技用具等の機能を向上させる技術等を開発するための体制を整備し、東京2020大会等に向けた我が国のアスリートのメダル獲得の優位性を確実に向上させる取組を実施する。

なお、競技用具等の機能を向上させる技術等の開発にあたっては、JSCが取り組むプロジェクトのほか、選手等のニーズに対応した効果・実現性の高いプロジェクトをスポーツ団体・大学等から公募し、外部有識者で構成する委員会を審査を行い採択するとともに、進捗管理を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	設備備品費	技術開発、コンディショニング、リモート支援	126.3				
	雑役務費	技術開発、コンディショニング、リモート支援	126.2				
	人件費	事務職員等	56.1				
	一般管理費		29.4				
	旅費	調査旅費、打合せ旅費等	18.9				
	消費税相当額	不課税経費×0.1	8.9				
	消耗品費	技術開発、コンディショニング、リモート支援	8.7				
	諸謝金	被験者謝金、データ入力作業等	4.2				
	借損料	被験者謝金、データ入力作業等	0.6				
	計		379.3	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本スポーツ 振興センター	5011105002256	スポーツ強靱化のための基盤 整備事業	379.3	随意契約(その 他)	-	100%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	